



建交労



2020年10月9日
建交労神奈川県南支部

2020年秋季年末闘争No.07

2019年度推進ニュース③④通算193号

発行責任者 佐藤 章

神奈川県南支部は雨が降る東神TSで 2020年“10.9トラックの日”宣伝行動！

神奈川県南支部は2020年10月9日の“トラックの日”の行動を例年どおり神奈川県大和市内にある東神トラックステーション内で実施しました。天候は台風14号の影響で昨晚からの雨が間断なく降りつづき気温も11月中旬頃の寒さとなって宣伝行動には生憎な日でしたが、建交労全国トラック部会統一宣伝行動の一翼を担って午前中の短時間に集中しての行動となりました。

参加者は、県南支部の佐藤委員長を先頭に清野・小島副委員長、大島書記長、金崎書記次長、須田執行委員、分会では内外外液の三浦書記長、合同分会の赤羽に加え中央本部から鈴木書記次長（全国トラック部会事務局長）が駆けつけて計9名でした。

行動に先立って、佐藤支部委員長から「コロナ禍によって今年前半の行動はほとんど自粛せざるを得なかった。ここへきて徐々に国民の行動も広がっていますがコロナの脅威が続いているなかでの行動であり成功させましょう」との主催者挨拶があり、大島書記長から行動の内容が説明されたあと、中央本部の鈴木書記次長から「全国の宣伝行動



主催挨拶をする佐藤委員長



行動を提起する大島書記長



情勢報告をする鈴木書記次長

の取り組み状況や国交省・全ト協から建交労へのコロナ対策要請」などが報告されました。

この後の具体的な行動内容は、国交省・全ト協から提供されたクリアファイルや神ト協提供の



東神TSで運転手に聴き取りをする行動参加者

包装用ラップとウエットティッシュ、それと建交労トラック部会のティッシュビラをトラック運転手に手渡して国交省と全ト協が共同ですすめている“コロナによるトラック運転手への影響調査”とも関わって「東京トラック部会のなかま」が作成した「コロナによる仕事や賃金への影響」を聴く簡潔なアンケート用紙を使った聴き取り調査です。この調査は予想した以上に多くのドライバーから協力があり僅か1時間余りの行動でしたが30人の運転手から聞き取りをすることができました。



行動の終了後に記念の集合写真におさまる仲間